

**JICA 横浜 海外移住資料館**

# 館報

**2024 年度**





## はじめに

JICA 横浜 海外移住資料館は 2002 年に開館し、累計来館者数が 75 万人に達しました。2024 年度はコロナ禍以降、初めて年間来館者数が 4 万人を超え、大変ありがたく感じております。当館に関心を持ち、足を運んでいただいた皆様、ご協力くださる関係者の皆様、そして当館の活動を支えてくださる地域の皆様に、厚く御礼申し上げます。

2024 年度の企画展示は、「サンノゼ・ジャパントウン 受け継がれる移民の想いと心」を開催いたしました。戦前に形成されたサンノゼの日本町は、第二次世界大戦中の強制収容、差別や苦悩を乗り越え、今も日本文化が色濃く残る町です。サンノゼで盛大に行われている「OBON Festival」の雰囲気を感じながら、歴史や町の盛衰、現在の活動、コミュニティを支える人々などをご覧いただき、国内のみならず、アメリカからも多くの方々にご来館いただきました。

また、ミニ展示としてパリオリンピック・パラリンピック開催記念「スポーツがつないだ日系社会」の他、「回顧 在日ペルー人社会の 35 年 ―環（還）流する人びと―」も在東京ペルー共和国総領事館と共催いたしました。1989 年以降、ペルーから日本に渡る人が増え、在日ペルー人社会が形成されてきました。かつて、日本人がペルーに移住した歴史とともに、ペルー人の日本への環流を生活、教育、コミュニティなど、さまざまな側面から紹介いたしました。

イベント関連では、今年度も、「横浜からサンフランシスコへの船旅 ―女性の経験を中心に―」や「定住型日系ブラジル人と日本の地域社会 ―豊田市での多文化共生と次世代育成―」など幅広いテーマのオンライン講演会や毎年恒例の子ども向け夏休みイベントなどを行いました。加えて、今年度初めて、在日日系人の子どもたちを主な対象として、楽しみながら自身の家族の歴史に触れ、日本やルーツ国との繋がりを学ぶイベントも実施しました。

団体の皆様にも多くご来館いただきました。教育プログラムには学校を中心に計 243 団体、7,483 名にご参加いただきました。校外学習の一環として、当館をご利用いただく機会が増え、横浜市をはじめとした多くの学校にご来館いただきました。

移民カルタやスゴロクで楽しそうに学んでいたりと、館内の写真を見て「授業で見た写真と同じ！」などと話す生徒がいたり、それぞれの視点で館内を回り、新たな発見に目を輝かせている姿が見られました。

さらに、2024 年度は初めて「教員のための博物館の日」を開催し、教員向け研修を行いました。この研修を通して、先生方に授業で移民を扱う意義を考えていただきました。現在、学校では日本人の海外移住の歴史を勉強することはほとんどありませんが、今後もこのような機会を通して、先生方に理解を深めていただき、学校現場でも扱っていただけるよう働きかけていきたいと考えています。

ボランティアの新規募集も行い、48 名の新規ボランティアを採用いたしました。合計 60 名近いボランティアの方々にご協力いただき、ご来館者への展示案内はもちろん、夏休みや外部のイベントなど活動の幅を広めていく予定です。ご来館者の皆様により満足いただけるよう努めてまいります。

研究・学芸部門では、新たに 6 件の学術研究プロジェクトが始動しました。また、研究紀要第 19 号の掲載論文や第 5 回 JICA 海外移住「論文」及び「エッセイ・評論」受賞作品は、多文化共生やジェンダー、博学連携、文化活動の研究など、多岐にわたるテーマを掘り下げる内容となっており、新たな視点を与えてくれるものとなっております。

現在、日本に在留する外国人は 350 万人を超え、私たちの社会は急速に多様化しています。海外移住の歴史を通して、過去から学び、共に生きる社会への理解を深める場となるよう、今後もさまざまな活動に尽力してまいります。引き続き当館の活動へのご支援・ご協力賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

JICA 横浜 海外移住資料館 館長 大野 裕枝

# 目 次

## 1. 展示・教育・広報

- (1) 展示イベント等 .....1
- (2) 教育普及活動 .....8
- (3) 広報活動 ..... 19
- (4) アンケート調査 ..... 21

## 2. 資料収集・整備

- (1) 資料等情報整備 ..... 22
- (2) 情報システム ..... 24

## 3. 研究活動

- (1) 学術研究プロジェクト ..... 25
- (2) 研究紀要の発行 ..... 28
- (3) JICA 海外移住「論文」及び「エッセイ・評論」  
募集事業 ..... 29

## 4. 運営委員会・学術委員会

- (1) 運営委員会 ..... 30
- (2) 学術委員会 ..... 30

## 5. 各種実績等

- (1) 来館者受入 ..... 31
- (2) 他館・他機関への訪問 ..... 31
- (3) その他 ..... 31
- (4) 他館への資料貸出 ..... 32
- (5) 各種実績データ ..... 33



# 1. 展示・教育・広報

## (1) 展示イベント等

### 1) 閲覧室の再開室について

2024 年度当館展示場は通常通り開館していたが、当館閲覧室については、JICA 横浜の大規模改修工事のため 2023 年 11 月より閉室しており、2024 年 8 月 6 日より再開室した。

### 2) 展示、イベント一覧

#### ミニ展示 1 パリオリンピック・パラリンピック開催記念「スポーツがつないだ日系社会」

開催期間：7 月 26 日（金）～9 月 8 日（日）

開催期間中入館者数：5,265 名

概要：パリオリンピック・パラリンピック開催を記念し、2016 年に当館で開催した企画展示「二つのオリンピックスポーツがつないだ日系社会」のパネルの一部を体験学習コーナーにて展示した。当館所蔵のリオオリンピックのトーチやユニフォームなども併せて展示し、日系人とオリンピックの繋がりを感じ取る機会とした。



#### ミニ展示 2 在東京ペルー共和国総領事館・JICA 横浜 海外移住資料館共催 「回顧 在日ペルー人社会の 35 年―環（還）流する人びと―」

開催期間：10 月 8 日（火）～11 月 24 日（日）

開催期間中入館者数：6,322 名

概要：1989 年、ペルー国籍者の外国人登録者数が前年度比 400%超となった。それから 35 年、リーマンショックや東日本大震災、新型コロナウイルスの世界的な大流行などさまざまな困難なできごとに直面しながらも、日本社会に根を降ろし、日本で活躍する二世世代も誕生している。本展示では、写真や実物資料、統計データなどをおして在日ペルー人社会の 35 年を振り返った。10 月 11 日（金）には、在東京ペルー共和国総領事館と当館共催によるオープニングセレモニーを開催し、在東京ペルー共和国総領事館 アンネ・マエダ・イケハ



タ総領事や中南米諸国の大使館関係者、在日ペルー人コミュニティで活動している方々など、約 60 名が出席した。



## **企画展示 「サンノゼ・ジャパントウン 受け継がれる移民の想いと心」**

開催期間： 2 月 14 日（金）～6 月 29 日（日）

開催期間中入館者数： 5,359 名 (2025 年 3 月末日現在)

概要：アメリカでジャパントウンと呼ばれている町が、第二次世界大戦以前にはカリフォルニア州だけで 46 あったものの、現在はロサンゼルス、サンフランシスコ、サンノゼの 3 市に残るのみとなっている。その中でも、移民文化の面影や遺産が一番強く感じられる町サンノゼ・ジャパントウンの歴史を辿り、そこで生活する日系人やさまざまな団体・店舗の活動から、移民が残した文化遺産がどのようなかたちで受け継がれ、今日に至っているかを文書や写真資料、インタビュー証言などで紹介した。



## イベント1 海外移住の日・国際日系デー周知イベント

開催日：パネル展示 6月1日（木）～6月30日（金）、ノベルティ配布 6月18日（日）、20日（火）  
SNS風パネルで写真撮影 6月18日（火）～23日（日）

参加者：230名

概要：海外移住の日（6月18日）および国際日系デー（6月20日）を周知するため6月1日からの1カ月間、JICA横浜内に海外移住の日および国際日系デーに関するパネルを展示した。また、常設展示場内に海外移住の日、国際日系デーのSNS記事をイメージしたパネルを設置し、写真撮影スポットで写真を撮影した来館者にノベルティ（オリジナルクリアファイル）を配布した。（配布枚数230枚）



## イベント2 オンラインセミナー「横浜からサンフランシスコへの船旅—女性の経験を中心に—」

開催日：7月12日（金）18:00～19:30

参加者：48名 ※Zoomウェビナーでの開催

概要：本セミナーは、2024年度より当館学術委員となった小澤智子委員（武蔵野美術大学言語文化研究室教授）を講師とし、横浜から太平洋を渡る船旅およびアメリカへの上陸と入国プロセスに注目しつつ、日本人女性にとっての移動経験に光をあて、また、移動する日本人女性を「支援」および「監督」しようとしたさまざまな組織の関係者による活動にも触れた。本セミナーはZoomウェビナーを利用して開催し、73名の登録、当日は48名の参加があった。

## イベント3 令和6年度地域博物館連携事業「ミュージアム・ミッション2024」

開催日：7月20日（土）～9月1日（日）

参加者：153名

概要：神奈川県立歴史博物館が中心となり企画したイベントに参加した。横浜市中区、西区にある各博物館施設を回り、各館のミッションに挑戦し、ミッションをクリアするとシールがもらえる。規定枚数のシールを集めるとプレゼントをもらうことができる。本イベントは2024年度で22回目の実施となる。

当館からはアリアンサ移住地の展示を背景に写真を撮影することをミッションとした。期間中、当館が配布したシールの枚数は153枚であった。

#### **イベント4 夏休み子ども向けイベント「宝探し “JOMM QUEST 2024”」**

開催日：8月1日（木）～9月1日（日）

参加者：391名

概要：親子連れでの来館が多くなる夏休みに昨年度に引き続き、子ども向けワークシート「宝探し “JOMM QUEST 2024”」を希望者に配布し、全ての宝物（資料）を見つけることができた参加者にはノベルティをプレゼントした。

#### **イベント5 オンラインセミナー「【調査報告】海を渡った日本人移民・移住者と郷里のつながり～現在に遺る日本人移民・移住者が出身地域に遺した記憶・痕跡～」**

開催日：8月3日（金）14:00～15:30

参加者：53名 ※Zoom ウェビナーでの開催

概要：渡辺倫氏（東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究室・博士課程1年）による日本人移民・移住者の出身地に遺る記念碑・顕彰碑に関する調査報告。  
本セミナーはZoom ウェビナーを利用して開催し、81名の登録、当日は53名の参加があった。

#### **イベント6 紙芝居でまなぶ海外移住のお話**

開催日：8月17日（土）13:00～15:30

参加者：96名

概要：当館が作成した紙芝居『弁当からミックスプレートへ』『ハワイにわたった日系移民』『海を渡った日本人』の三作品を紙芝居師ズキズズ氏が語り実演を行った。



## イベント7 ルーツ探しイベント

### ① 特定非営利活動法人日本ペルー共生協会（AJAPE）

開催日：8月15日（木）

参加者：24名

### ② 横浜市立大学国際教養学部坪谷ゼミ・トレボル NIHONGO 教室

開催日：10月20日（日）

参加者：35名

概要：在日日系人の子どもたちを主な対象としてイベントを実施。館内各ポイントに説明役として高校生や大学生を配置。各ポイントで、中南米への移住の歴史や現在の日系社会についての説明を聞いたり、クイズに答えたりして、スタンプを集め、達成した人には景品をプレゼントした。日本で生まれた、または幼少期に来日した子どもたちにとって、楽しみながら自身の家族の歴史に触れ、日本やルーツ国との繋がりを感じる意義深い機会となった。

## イベント8 2024年教員のための博物館の日

～授業における博物館活用・多様な学びのための研修会～

開催日：8月19日（月）13:00～16:30

参加者：11名

概要：2008年に国立科学博物館が始め、全国の博物館に広がっている「教員のための博物館の日」を今年度初めて実施。全国の教員や教育関係者を対象とし、海外移住資料館ガイドツアーやワークショップを実施した。ワークショップは、東京未来大学モチベーション行動科学部の中澤純一先生を講師にお迎えし、当館の教材体験や学習活動の手引きを利用した授業体験を行った。「異なる文化に足を踏み入れる側の歴史やそこにある思い、その中で自国の文化を大切にしたり、一方その土地の文化を受け入れる気持ちなどは、自己のアイデンティティや共生など、多種多様な範囲に応用の効く内容であった。」などの声が聞かれた。

## イベント9 パスポートのお話と印章ワークショップ

開催日：8月24日（土）14:00～15:30

参加者：46名

概要：小学3年生以上を対象とした親子参加型のイベント。江戸時代末期に発行された（御免の）印章から現在発行されているパスポートまでの歴史をたどった後、参加者自身の印章を作成するワークショップを行った。

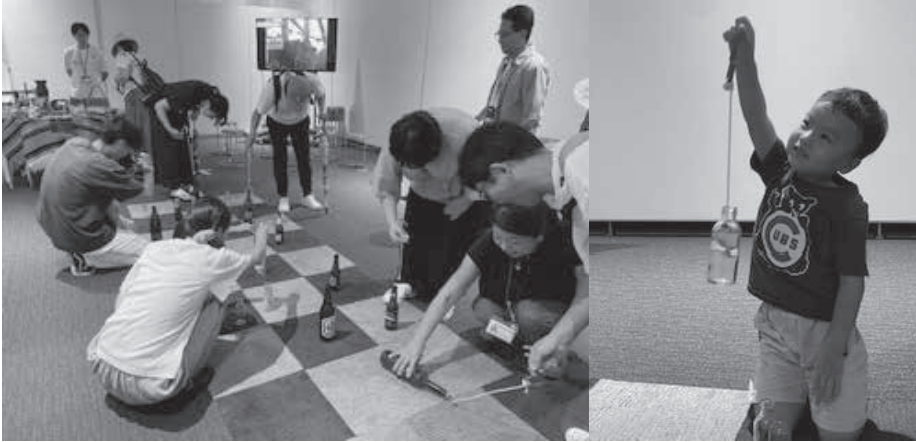


## イベント10    **ビン釣り競争に挑戦**

開催日：8月31日（土）14:00～17:00

参加者：95名

概要：移民船の中で行われた船内運動会の種目の一つである「ビン釣り競争」を体験するイベント。会場内では船内運動会を記録した動画や現在の日系社会で行われている運動会の写真をスライドショーにしたものを上映し、船内の生活や日系社会での暮らしの一端を体感できるように工夫した。



## イベント11    **第四回 JICA 海外移住「エッセイ・評論」受賞者講演会** **「定住型日系ブラジル人と日本の地域社会ー豊田市での多文化共生と次世代育成ー」**

開催日：9月29日（日）11:00～12:30

参加者：89名 ※Zoom ウェビナーでの開催

概要：第四回 JICA 海外移住「エッセイ・評論」部門で優秀賞を受賞した椋山女学園大学准教授・小林おかり氏に受賞作品で論じられている、定住化する日系ブラジル人の現状と豊田市における次世代交流の事例のほか、受賞後に開始されたプロジェクトの事例も加えて豊田市の多文化共生の現在と未来の構想についてお話しいただいた。

本セミナーは Zoom ウェビナーを利用して開催し、134名の登録、当日は89名の参加があった。

## イベント12    **オンラインセミナー「日系人と日本の歌」**

開催日：3月10日（月）18:00～19:30

参加者：68名 ※Zoom ウェビナーでの開催

概要：南米各地で開催されているカラオケ大会の実態や日系人と日本の音楽との関係、日本の歌から感じる日本とのつながり、アイデンティティの形成など若い世代の日系人が日本の歌からどのような影響を受けているか、当事者である若い世代の日系人（ブラジル・ペルー）が自身の経験を語った。

本セミナーは Zoom ウェビナーを利用して開催し、116名の登録、当日は68名の参加があった。

## 公開講座 1

「帰還－栃木県真岡市でのデカセギ 35 年史－」

開催日：11 月 2 日（土）14:00～15:30

講師：ハイメ・タカシ・タカハシ氏  
（真岡市国際交流協会）

参加者：81 名 ※Zoom ウェビナーでの開催

概要：1989 年に来日して以来、栃木県真岡市を中心にペルーからのデカセギたちの通訳・翻訳業務などに携わりながら、タカハシ氏が見てきた在日ペルー人社会の 35 年についてお話しいただいた。



## 公開講座 2

「日本町の重要性」

開催日：3 月 22 日（土）14:00～15:30

講師：マイケル・M・セラ氏  
（サンノゼ日系アメリカ人博物館 前館長）

参加者：86 名

概要：セラ氏は 2010 年の夏からサンノゼ日系アメリカ人博物館（JAMsj）でガイドボランティアを始め、バイリンガルの解説員として日系アメリカ人の歴史と経験を広める活動に従事後、理事、館長を歴任された。本公開講座では、サンノゼ日系アメリカ人博物館でセラ氏が今まで関わってこられた経験を踏まえ、サンノゼ日本町とその歴史をご紹介いただいた。当日は予想をはるかに超える受講者にご参加いただいた。



## (2) 教育普及活動

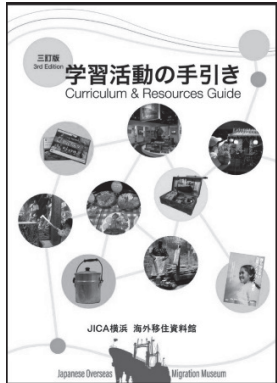
### 1) 教育プログラムの概要

当館では、日本人移民に関する資料の収集、保存、展示、研究活動のほか、設立趣旨にあるように移住者たちの足跡や役割について多くの人々に伝え、理解を深めてもらう役割を担っている。また、特に若い世代の人々に、多文化共生社会を生きる一員として、あるいは開発教育の視点からも、一人ひとりに移住者からのメッセージを受け止めてもらいたいとの思いから、開館当初より、教育普及活動に積極的に取り組んでいる。

現在、日本においても外国から多くの人々が移り住み、多文化社会が進展してきており「多文化共生」が教育の分野においても大きな課題になっている。そこで、日本人の海外移住の歴史と日系人の生活について展示を行っている当館では、そのような課題に応え、教育関係者を対象として、指導者向けの解説書である『学習活動の手引き』の作成をはじめとし、教材開発やボランティアによる展示ガイド等、多様な教育プログラムを実施している。

今後、世界の移民人口はますます増加すると予想されている。未来に向けて、考え、解決すべき問題も多く存在している。私たちは、そうした問題に正面から向き合いながら、これからも、多様な人々が共生できる社会を育み続けていかねばならない。当館の教育プログラムを「共生にむけて」社会参加ができる子どもたちの育成のために活用いただければと考えている。

表：海外移住資料館の学習教材

|                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>【学習活動の手引き】WEB公開</b></p> <p>当館の見学を伴う学習活動や当館教材を用いた学習活動を掲載した『学習活動の手引き』の三訂版では、当館の展示リニューアルに合わせて活動案を改訂し、海外移住の歴史だけでなく、多文化共生についても学べるよう、現代の教育ニーズに合わせて作成している。活動を実践しやすいようにワークシートや参考資料をHPからダウンロードできるように作成した。学校での授業や、NGO/NPO 関係の方々のワークショップの際の参考として利用できる。</p> |   |
| <p><b>【移民カルタ】貸出可</b></p> <p>日本人の海外移住の歴史、移住者の生活や心情、日本に住む日系人の生活や思いなど、子どもたちに知ってほしい移民に関するさまざまな事柄を、遊びをとおして楽しみながら学ぶことができる。</p>                                                                                                                              |  |
| <p><b>【日本-ブラジル移民カルタ】貸出可</b></p> <p>日系ブラジル人の歴史や文化を学ぶだけではなく、日系ブラジル人の継承日本語教育の学習教材としても活用できるよう、日本語とポルトガル語の解説が併記されるなど、さまざまな工夫が凝らされている。<br/>(制作：移民カルタ研究会)</p>                                                                                                |  |

### 【移民スゴロク】貸出可

日本人のブラジル移住および移住一般に関して学ぶことを目的としている。クイズもあり、遊びながら学べるようになっている。小学生高学年以上対象。



### 【紙芝居】貸出可

絵や写真、そしてわかりやすい言葉で書かれた物語を通じ、移住者の歴史的経験や心情、日本に暮らす日系人の生活や思いを共感的に理解することができる。全 4 種類。

- (上段左) 海を渡った日本人
- (上段右) カリナのブラジルとニッポン
- (下段左) ハワイにわたった日系移民
- (下段右) 弁当からミックスプレートへ



### 【いみんトランク】貸出可

国際的な人の移動から多文化共生を学ぶことのできる教材として、また、日本と世界をつなげていく教材として、移民に関する授業や事前学習のサポートを目的に貸し出ししている。移住者の歴史や経験、貢献などにかかわるハンズオン教材として、以下の教材を用意している。

- ・野菜山車（画像・トピックシート有）
- ・ハワイ移民労働着
- ・弁当缶
- ・笠戸丸画像
- ・パールハーバー当日の新聞
- ・太平洋戦争終戦を伝える新聞
- ・さとうきび
- ・ミックスプレート（トピックシート有）
- ・移住斡旋ポスター
- ・ジュート
- ・コショウ
- ・綿花
- ・コーヒー
- ・コーヒー用麻袋
- ・日系人が栽培している野菜
- ・サクラ醤油
- ・ハワイ盆踊り手ぬぐい
- ・ロコモコ（トピックシート有）
- ・スパムセット
- ・Tシャツ（日系コミュニティのイベント等で使用されたもの）
- ・ブラジルの和菓子（やぶれまんじゅう、あんぱん、詰め合わせ、緑茶もち、金澤製菓画像。トピックシート有）
- ・ブラジル南米神宮のお守り（南米神宮画像、トピックシート有）
- ・ハワイのビッグファミリー（画像）



【ハワイ移民労働着：ハナハナウェア】



【ミックスプレート、弁当缶、さとうきび】



【

- ・ブラジルの米
- ・ブラジルの干柿
- ・野菜山車の唐辛子(模型)(新規)
- ・野菜山車のさつまいも(模型)(新規)
- ・野菜山車の大根(模型)(新規)
- ・萬屋のフランスパン(模型)(新規)
- ・野菜山車の白菜(模型)(新規)
- ・日系人が栽培している胡椒(模型)(新規)
- ・日系人が栽培しているカカオ(模型)(新規)
- ・日系人が栽培しているクプアス(模型)(新規)
- ・日系人が栽培しているカジュ(模型)(新規)
- ・日系人が栽培している楕円スイカ(模型)(新規)
- ・日本から輸入した缶詰(鯛天麩羅)(新規)
- ・日本から輸入した缶詰(カマボコ)(新規)

これらの教材を実際見て、手に取ることで、日本人移民の歴史と経験について何かを感じ取り、学習効果が高まることを期待している。

なお、トピックシート(各教材の説明)に関してはHPからダウンロードできる。



【ブラジルの和菓子】

#### 【定点解説キット】館内利用のみ

日本からの移住者が運んだトランクを再現したもの、当時の移住先国での暮らしを紹介するものなど、10のキットがある。直接体験をとおして展示をより実感して理解することが可能となる。本キットは、常設展示案内時に使用している。

- ・サトウキビ畑の生活・仕事(麦わら帽子、手ぬぐい地の帽子、軍手、写真パネル等)
- ・ミックスプレート(写真パネル)
- ・スーツケース(写真カード入小箱、トランク等)
- ・移住物語(写真アルバム、複製パスポート)
- ・花と製品あてゲーム
- ・農作業具(写真パネル)
- ・日系商店(萬屋の品揃えアルバム、エプロン等)
- ・日系人の食卓(写真アルバム)
- ・イグアス(空撮写真、アルバム等)
- ・宝さがし(中高生向写真カード、ゾーンマップ)



#### 【映像教材】貸出可

日本人の海外移住の歴史に関する映像教材。以下7種類は貸出も行っている。

①DVD「子供たちの百年 ブラジルに渡った少年少女は、今！」(制作：2008年、53分)

②DVD「アマゾンに挑んだ草創の日本人」(制作：2009年、85分)

③DVD「夢と希望を運んだ船 ～移住船での暮らし～」(制作：2009年、5分)

④DVD「100年の鼓動 ―ハワイに渡った福島太鼓―」(制作：2011年、57分)

⑤DVD「誰も知らない日系アメリカ人の歴史」※(制作：2013年、40分)

※本映像教材は『二つの祖国で・日系陸軍情報部』などで知られるすずきじゅんいち監督より寄贈を受けた。

⑥DVD「Monica and Friends | 日本とブラジル友情の絆」(制作：2020年、11分)

※本映像教材はMauricio de Sousa Productions Japanより使用許諾を得た。

⑦DVD「Raíces メキシコ東北部の日本人の子孫」(制作：2017年、17分)

※本映像教材はDahil Melgar氏等から使用許諾を得た。

### 【パスポート】

当館概要、海外移住の歴史、ワークシートなどを一つの冊子にまとめた子ども用教材。生徒・児童はもとより一般来館者へも配布し、展示のねらいに即した見学を支援するとともに、後日、見学した内容を簡単に振り返ることができるよう工夫されている。2023 年 2 月、リニューアル後の展示用にワークシートを改訂し、日系人の海外移住と SDGs との関係なども記載した新版の運用を開始した。

## 2) 教育プログラムの実施

教育機関の団体入館児童・生徒、学生を主な対象として、ガイダンス（概要説明）、パスポートや学習教材を使用したプログラム、ボランティアによる展示解説、質問事項への対応等を実施した。本年度の教育プログラム実施件数は243件、総受講者数は7,483名となった。オンライン実施を含めた四半期毎の実施教育機関は以下のとおり。



### 【教育プログラム実績】

|       | 第 1 四半期 | 第 2 四半期 | 第 3 四半期 | 第 4 四半期 | 年度計   |
|-------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 件数    | 55      | 59      | 73      | 56      | 243   |
| 総受講者数 | 2,087   | 1,032   | 2,069   | 2,295   | 7,483 |

※件数は実際にプログラムを実施した数。同じ教育機関が複数回受講したケースも有り。

### 【教育プログラム受講教育機関】（順不同）

#### (a) 第 1 四半期：

|         | 団体名                                                                                                                                                                                                                                                                           | 団体数 | 受講人数  |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 小学校     | 横浜市立荏田南小学校                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1   | 104   |
| 中学校     | 伊勢市立厚生中学校、横浜市立森中学校、仙台市立八乙女中学校、天童市立第三中学校、相模原市立大沢中学校、横須賀市立馬堀中学校、横浜市立潮田中学校、平塚市立旭陵中学校、横浜市立義務教育学校西金沢学園、清水町立清水中学校（複数回）、相模原市立新町中学校、座間市立東中学校、豊川市立西部中学校、相模原市立旭中学校、横浜市立港中学校                                                                                                             | 16  | 735   |
| 高等学校    | 東京都立向丘高等学校、東京都立拝島高等学校、帝京八王子高等学校、神奈川県立鎌倉支援学校金井分教室、あずさ第一高等学校町田キャンパス                                                                                                                                                                                                             | 5   | 479   |
| 大学・専門学校 | 東京工業大学環境・社会理工学院、東海大学人文学部人文学科、横浜国立大学交換留学プログラム、明治学院大学、東京都市大学環境学部、相模女子大学人間社会学部社会マネジメント学科（複数回）、日本大学法学部                                                                                                                                                                            | 8   | 138   |
| その他     | JICA日系リーダー育成事業留学生、JICA海外協力隊（2023年度4次隊）、神奈川県子ども福祉みらい局共生推進本部室、草加市日中友好協会、広島市議会議員ご一行、私立学校社会科研修会、NPO横浜金澤シティガイド協会、神奈川県警察学校（複数回）、JICA日系社会研修オリエンテーション（複数回）、港北歩こう会、警察大学校国際警察センター韓国語課程、湯河原町母子保健推進員及び健康湯河原普及員会、埼玉県生きがい大学校友会伊奈さいたま会、JICA日系社会次世代育成研修（中学生）、よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト、大志万学園（ブラジル） | 25  | 631   |
| 合計      |                                                                                                                                                                                                                                                                               | 55  | 2,087 |

## (b) 第2 四半期：

|         | 団体名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 団体数 | 受講人数  |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 小学校     | 相模原市立大沼小学校                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 1   | 65    |
| 中学校     | モナークインターナショナルプリスクール(小学生含む)、横浜市立田奈中学校、東京学芸大学附属国際中等教育学校、横浜市立南高等学校附属中学校、森村学園中・高等部(高校生含む)、横浜市立本宿中学校、横浜サイエンスフロンティア高校・附属中学校、豊橋市立南部中学校、ふじみ野市立大井西中学校、厚木市立林中学校                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 10  | 171   |
| 高等学校    | 岡山県立矢掛高等学校、横浜市立横浜商業高等学校、法政大学第二中・高等学校(中学生含む)、東星学園中学・高等学校(中学生含む)、湘南工科大学附属高等学校                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 5   | 115   |
| 大学・専門学校 | 明治大学政治経済学部加藤言人ゼミナール、中央大学総合政策学部、法政大学人間環境学部武貞・竹本ゼミ、日本大学法学部、北里大学看護学部、上智大学総合人間科学部看護学科、城西国際大学(複数回)、山梨県立大学(PENTAS)、立命館大学大学院経済学研究科、京都産業大学、帝京大学経済学部地域経済学科、創価大学教育学部津山ゼミ、武蔵大学国際教養学部、大正大学、お茶の水女子大学文学部教育学科コース                                                                                                                                                                                                                                                 | 17  | 271   |
| その他     | JICA日系社会次世代育成研修(大学生)、(株)日本旅行中部広域営業部、(公財)山梨県国際交流協会、JICA横浜教師海外研修、JICA海外協力隊(2024年度1次隊)、藤小研国際教育部、JICA日系社会研修オリエンテーション、FAMよこはまアフタースクール、アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター、北方領土返還要求運動神奈川県民会議、世界食糧デー登別大会実行委員会、桑の木会、新生日本・再生故郷実行委員会、NPOブラジルSolidário横浜、スギノファミリーご一行、一般財団法人日本国際協力センター(JICE)、JICA東京センター教員のためのSDGs研修、放課後等デイサービスLittle Labo、公益財団法人横浜市国際交流協会(YOKE)インターン、矢板中央高校PTA、瀬谷区役所、JICA日系社会リーダー育成事業留学生、平和を考える茅ヶ崎市民の会実行委員会、特定非営利活動法人トルシーダ、よこはまライブラリーフレンド、Real English Party | 26  | 410   |
| 合計      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 59  | 1,032 |

## (c) 第3 四半期：

|     | 団体名                                                                                                     | 団体数 | 受講人数 |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|------|
| 小学校 | 横浜市立荏子田小学校、横浜市立つつじが丘小学校、横浜市立六つ川西小学校、横浜市潮田小学校ポルトガル語教室、横浜市立太尾小学校、北杜市立泉小学校、横浜市立下野谷小学校、平和学園小学校、千葉県船橋市立七林小学校 | 9   | 419  |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |    |       |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------|
| 中学校     | 神奈川県立みどり支援学校、芝国際中学校、平塚市立金目中学校・五領ヶ台分校、江戸川区立清新第一中学校、松阪市立三雲中学校、横浜市立西中学校、木更津市教育支援教室あさひ学級(小学生含む)、相模原市立上溝南中学校、横浜市立若葉台中学校、相模原市立清新中学校、相模原市立中野中学校、町田市立南中学校、さいたま市立東浦和中学校、相模原市立緑が丘中学校、四街道市立四街道西中学校、足立学園中学校、東京都北区桐ヶ丘中学校                                                                                                                                                                                                  | 17 | 460   |
| 高等学校    | 学校法人ムンド・デ・アレグリア学校(中学生含む)、東京農業大学第二高等学校、組合立三井中央高等学校、目黒日本大学高等学校通信制課程、熊本県立鹿本農業高等学校                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 5  | 230   |
| 大学・専門学校 | 中央大学、文京学院大学、東洋大学国際学部国際地域学科、東京都立大学、中京大学文学部アクティブ・ラーニング研究会、神奈川大学国際日本学部国際文化交流学科、青山学院大学教育人間学部、日本大学経済学部山口真紀ゼミナール、共立女子大学、昭和女子大学英語コミュニケーション学科池田陽子ゼミ、山梨県立大学看護学部国際看護学                                                                                                                                                                                                                                                  | 11 | 181   |
| その他     | 新宿区女性海外研修者の会、JICA日系社会研修オリエンテーション(複数回)、太田ゼミ同期会、家樹(株)、(公財)海外日系人協会(海外日系人大会オフィシャルツアー)、横浜市水道局、市川市危険物安全協会、工学院大学後援会茨城県支部、港北ボランティアガイドの会、横浜市役所市民局、ウォーキング団体ねこの手、横浜市役所健康福祉局高齢健康福祉部、JICA日系社会研修オリエンテーション、永谷地区民児協、AJT RIE 1105、ボーイスカウト横浜第8団カブ隊、ハワイ州観光局、群馬県ペルー人協会、禅馬自治会、中央地区社会福祉協議会(横浜市保土ヶ谷区)、GOLD NATION(インドネシア)、横浜市市民局、公益財団法人神奈川県スポーツ協会、横浜市役所市民局、横浜市磯子区役所、横浜市退職女性教職員の会、横浜市中区役所、横浜市中区役所、外務省対日理解促進交流プログラムカケハシプロジェクト、横浜市南区役所 | 31 | 779   |
| 合計      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 73 | 2,069 |

(d) 第4四半期:

|     | 団体名                                                                                                                                                   | 団体数 | 受講人数  |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 小学校 | 横浜市立中和田小学校、横浜市立永谷小学校、川崎市立宮前小学校、川崎市立南河原小学校、横浜市立六つ川西小学校                                                                                                 | 5   | 434   |
| 中学校 | 藤沢市立高倉中学校、八王子市立由木中学校、府中市立府中第四中学校、厚木市立睦合東中学校、国立市立国立第一中学校、八王子市立第六中学校、八王子市立打越中学校、練馬区立石神井東中学校、世田谷区立松沢中学校、八王子市立元八王子中学校、練馬区立大泉中学校、中央区立晴海中学校、北区立明桜中学校、厚木市立荻野 | 19  | 1,167 |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |    |       |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------|
|         | 中学校、八王子市立川口中学校（複数回）、大田区立六郷中学校、大磯町立大磯中学校、厚木市立相川中学校                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |    |       |
| 高等学校    | わせがく夢育高等学校、神奈川県立金沢支援学校高等部B部門、横浜市立みなと総合高等学校、法政大学第二高等学校                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 4  | 202   |
| 大学・専門学校 | 東海大学教養学部万城目ゼミ、横浜国立大学河内研究室、桜美林大学リベラルアーツ学群、東海大学国際学部、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパススペイン語・スペイン語圏研究室、常葉大学教職大学院                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 6  | 71    |
| その他     | 第24回松柏学園訪日使節団（ブラジル）、ブエノスアイレス日亜学院（アルゼンチン）、JICA日系社会次世代育成研修（中学生）、嘉悦大学元教授ご一行、（株）東急コミュニティー、JICA日系社会研修オリエンテーション、グリーンエキスポ関連後援会参加者、曹洞宗総合研究センター、オノファミリーご一行、NPO法人JECK、調布市西部公民館西利連、藤沢市学校教育相談センター相談支援教室、なでしこ会、オーエルジェイランゲージアカデミー、パルシステム洗足池委員会、厚木市森の里地区青少年健全育成会連絡協議会、University of Hawaii at Manoa, Native Hawaiian Student Services, Hawaiian Youths Abroad Program（アメリカ）、JICA海外協力隊（2024年度3次隊）、横浜山手中華学校アフタースクール、日本財団日系スカラーシップ事業留学生、湘南クリエイティブサービスピュアフレンド、茅ヶ崎市国際交流協会 | 22 | 421   |
| 合計      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 56 | 2,295 |

#### 【プログラム例 社会人（行政職員等）向け（1時間）】

- ①担当職員による移民排斥運動など人権に関連する資料の説明
- ②ガイド付き資料館見学（またはガイドシートを用いた自由見学）

#### 【プログラム例 大学生向け（1時間）】

- ①担当職員による資料館概要説明（目的別）
- ②ガイド付き資料館見学

#### 【プログラム例 高校生向け（1時間）】

- ①フォトランゲージを活用したワークショップ
- ②担当職員による資料館概要説明
- ③パスポートを活用した資料館見学

#### 【プログラム例 中学生向け（1時間）】

- ①担当職員による資料館概観説明
- ②パスポートを活用した資料館見学

#### 【プログラム例 小学生向け（1時間）】

- ①学習教材のカルタを使用した体験学習
- ②宝探しワークシートを活用した資料館見学

### 3) 教育プログラム関連業務

#### (a) インターン受入

以下、計4名のインターン生の受入を行った。

- ・ JICA インターンシップ・プログラム：2名
- ・ 大正大学社会共生学部公共政策学科：2名

インターン生は、教育プログラムの補助や来館者受入における改善の提案、教育プログラム用資料や広報記事の作成等を行った。

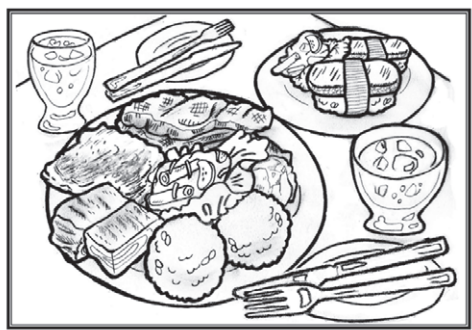
#### (b) 「うちミュージアム」ページ

これまでのインターン生発案の各種企画をはじめとした子ども向けの教育コンテンツをまとめ、「うちミュージアム」として当館 web ページに掲載している。

|                                                                                                                                                                   |                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>【Monica and Friends I 日本とブラジル友情の絆】</b></p> <p>ブラジルの国民的アニメ、「モニカ&amp;フレンズ」でブラジルへの日本人海外移住の歴史と、日本とブラジル両国の協力関係について解説している。日本語版に加えてポルトガル語版もあり、2言語での学習が可能である。</p>   |    |
| <p><b>【おうちでパスポートを発券してみよう!!】</b></p> <p>幕末から明治時代と明治時代から大正にかけてのパスポートを画像データにて再現し、自宅にしながら当時のパスポートの変遷を学ぶことができる。また、再現したパスポートで「渡航者は誰だ? ゲーム」も用意し、遊びを取り入れた学習機会も提供している。</p> |   |
| <p><b>【ぬりえで日本人が移住した国を学んでみよう】</b></p> <p>日本人が移住した15カ国の国旗のぬりえをダウンロードし、ぬりえをとおして日本人が移住した国を学ぶことができる。また、ダウンロードサイトには各国の面積や人口、日本人移住開始年などの基礎情報も掲載している。</p>                 |  |

【ミックスプレートってどうやって生まれたの？  
ぬりえとアニメーションで学んでみよう！】

常設展示場に展示しているミックスプレートをぬり絵化した。当館制作の紙芝居『弁当からミックスプレートへ』の視聴とぬり絵をとおして、ミックスプレートの成り立ちを学べるようにしている。

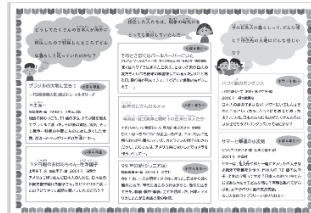


おいしいいしやうしょうかん 江戸 横浜 海外移住資料館 Japanese Overseas Migration Museum

【移住をテーマにした本を読んでみよう】

北・中南米へ移住した日本人の歴史や、日系人の暮らしがわかる絵本や小説を紹介している。

対象年齢別に小学生以上と中学生以上があり、年齢に適した書籍を知ることができる。ここに掲載されている本はすべて当館閲覧室に所蔵されている。



【日本人移民関連モニュメントマップ】

多くの移民を送り出してきた横浜には、日本人海外移民のための船が出発した港や宿泊施設があり、さらには移住地との友好関係を象徴するモニュメントが建てられている。これらの日本人移民関連モニュメントを記した地図を用いることによって、日本人移民の足取りをたどることができる。マップは小学校高学年～用と中学生～用の2種類を用意している。



#### 4) ボランティア管理運営

##### (a) ボランティア活動

常設展示室、企画展示室内での展示案内を中心に活動している。2024年度末時点で、登録者数は11名。なお、展示案内ボランティアの配置状況（延べ数）は以下の通りとなっている。

- ・第1 四半期：91人配置
- ・第2 四半期：142人配置
- ・第3 四半期：135人配置
- ・第4 四半期：126人配置

##### (b) ボランティア連絡会議の実施

ボランティア連絡会議を開催し、情報の共有および今後の活動についての意見交換を行った。2024年度は以下の通り実施した。

- ・第1 回 6月28日（金）開催 参加者：10名
- ・第2 回 2月13日（木）開催 参加者：4名

**(C) 新規ボランティアの募集**

展示案内ボランティアのほか、イベントや教育プログラムを補助する「教育プログラムボランティア」を新設し、新規ボランティアの募集を行い、オンラインによる面談を行った。面談の結果、最終的に 48 名に採用の通知を行った。2025 年度より正式採用し、活動を開始する。

募集期間：11 月 1 日（水）～12 月 16 日（月） 応募者数：84 名  
選考期間：1 月 14 日（火）～1 月 28 日（火） 面談者数：71 名

**(D) 新規ボランティア基礎研修**

新規ボランティアを対象とした基礎研修を 3 月 19 日（水）・20 日（木）の二日間、オンラインで実施した。

### (3) 広報活動

#### 1) 広報紙「海外移住資料館だより」発行

当館広報紙として「海外移住資料館だより」を、2024年度は2回発行。企画展示の内容などをテーマに、展示内容および資料館の活動などを紹介した。発行部数各3,000部。

主な配布先は、都道府県国際交流課および国際課、指定都市国際交流課および国際課、教育委員会や各国大使館、図書館、博物館、国際教育研究協議会加盟校、外国人集住都市の市区町村および国際交流協会など、約400件。その他、常設展示場、閲覧室等で随時配布している。また、当館HPでもバックナンバーを含め閲覧可能である。

| No. | 発行            | コンテンツ                             |
|-----|---------------|-----------------------------------|
| 62  | 2024 年<br>8 月 | 特集 戦争と日系人 ～偏見や差別との闘い～             |
| 63  | 2025 年<br>2 月 | 特集 企画展示サンノゼ・ジャパントウン 受け継がれる移民の想いと心 |



No.62



No.63

#### 2) 一般広報

JICA 横浜が行う広報事業等と連携しつつ、当館の入館者数増を目指し、地域で行われるイベント等への参加、広報媒体への掲載など、以下のとおり実施した。

横浜みなとみらい21主導の近隣館連携事業「Art&Museum」／神奈川県立歴史博物館主導の近隣館連携事業「ミュージアム・ミッション」／横浜市クルーズ・フレンドリー・プログラム／歩く地図 鎌倉・横浜散歩／東京散策乗物ガイド／横浜市観光協会「横浜観光バリアフリー情報」ほか／横浜市民ギャラリー「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」／横浜市観光情報サイト（横浜トラベルインフォスポット）／県のたより（神奈川県）／こどもタウンニュース／リビング新聞／横浜LOVEウォーカー／GREEN×EXPO 2027 教育旅行用PR媒体／観光案内所（横浜駅・桜木町駅）等

#### 3) 開催広報

JICA横浜が行う広報事業等と連携しつつ、当館常設展示および企画展示、公開講座、その他イベントに関する広報活動を積極的に行うため、広報素材作成と頒布、表示類の作成、プレスリリースの配信等、適宜開催広報を行った（朝日新聞／神奈川新聞／産経新聞／東京新聞／日本経済新聞社

／毎日新聞／読売新聞／共同通信社／NHK／TVK／JCOM／記者クラブ／国際交流協会／日本新聞協会／海外日系新聞放送協会／ブラジル日報／登竜門／公募ガイド／日本博物館協会HP／ヨコハマ・アートナビ／東海5県ミュージアムおでかけガイド等）。また近隣博物館、商業施設、宿泊施設等へ、広報物の掲出・設置等依頼した。

#### 4) 海外移住資料館「友の会」

海外移住資料館「友の会」は、「日本の海外移住の歴史」や「日系人」、「多文化共生」などのテーマに興味・関心のある方々へ関連情報を発信するとともに、当館利用者数の増加を図ることを目的に設立された。

活動内容は当館で実施する事業やイベントの案内、海外移住の歴史や日系人、多文化理解といったキーワードに関連する情報の発信等となっている。

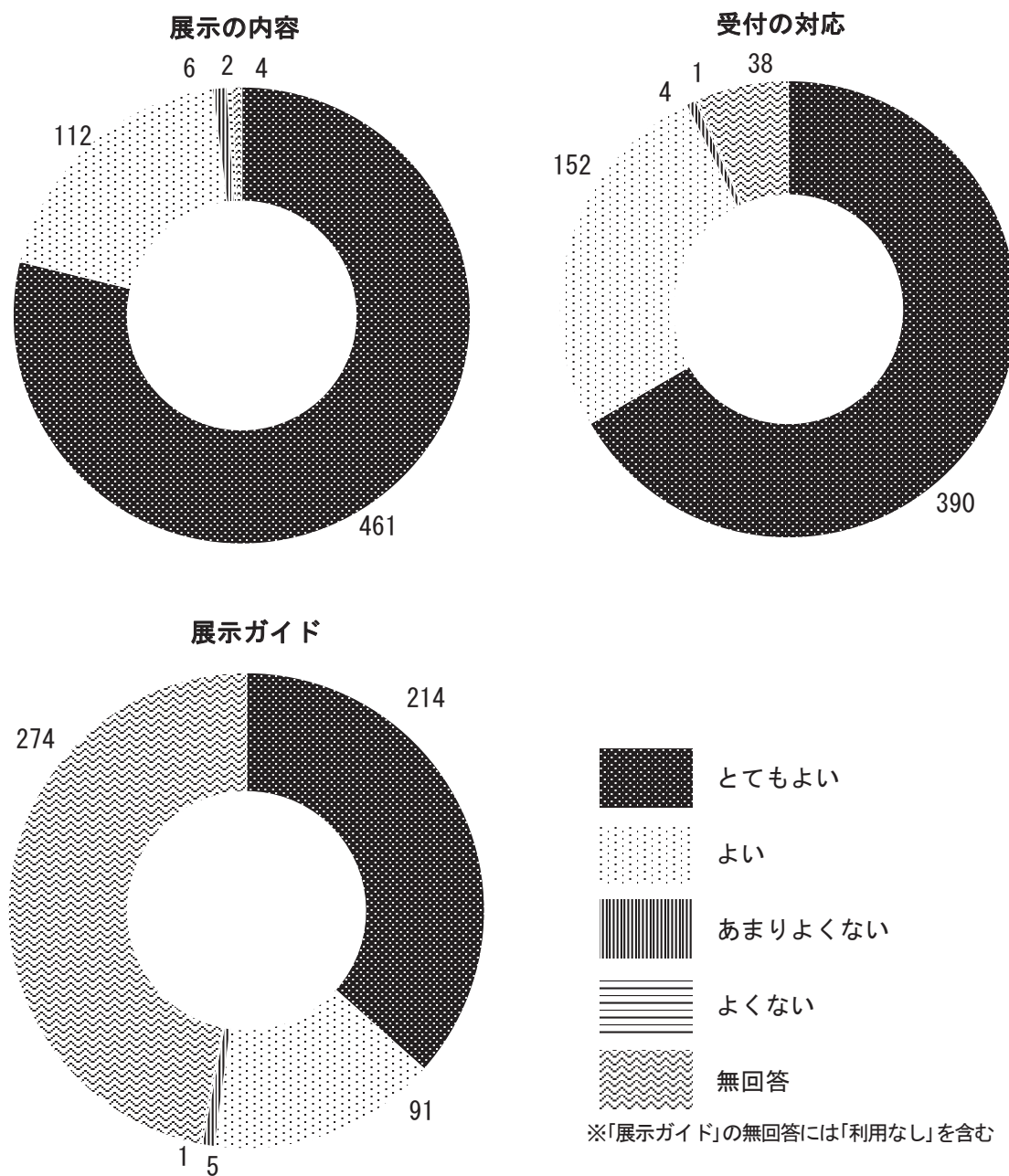
情報発信のツールとして、メールマガジンを利用し、2024年度は計12回配信。資料館ボランティアや受付等スタッフのおすすめを紹介する「海外移住資料館の展示物紹介シリーズ」を掲載した。コラムの内容は以下の通り。

- 4月 資料館受付Mさんのおすすめパネル「忠誠登録と第442連隊戦闘団」
- 5月 資料館受付Tさんのおすすめ「アリアンサ移住地の切り株」
- 6月 資料館受付Oさんのおすすめ「ローズフェスティバルの野菜山車」
- 7月 資料館受付Iさんのおすすめ「現在、そしてこれから」コーナー
- 8月 資料館ガイドボランティアUさんのおすすめ「花嫁たちの海外移住展示」
- 9月 資料館ガイドボランティアTさんのおすすめ「最後の移民船にっぽん丸」
- 10月 資料館ガイドボランティアAさんのおすすめ「明治元年（1868）から大正13年（1924）のピリオド」
- 11月 資料館ガイドボランティアHさんのおすすめ「外航旅館（移民宿）」コーナー
- 12月 資料館ガイドボランティアHさんのおすすめ「隠れスポット3選」
- 1月 資料館ガイドボランティアMさんのおすすめ「萬屋」コーナー
- 2月 資料館受付Eさんのおすすめ展示物「印章（パスポート）」
- 3月 展示・イベント担当者Sさんのおすすめ展示物「イグアス移住地（三面スクリーン映像）」

2024年度末時点で、友の会会員は1,876名となった。

## (4) アンケート調査

当館の常設展示入館者を対象に利用者アンケートを実施。設問は「展示内容について」「展示ガイドによる展示解説について」「受付での対応について」等を設定した。回答総数は 585 件。4 段階で評価いただいたが、すべての設問において、無回答を除いた有効回答の 9 割以上が「とても良い」「良い」を選択しており、良好な回答を得た。



## 2. 資料収集・整備

### (1) 資料等情報整備

#### 1) 資料の受入・収集

日本人の海外移住および日系社会に関連する図書類、新聞、標本類など各種資料を、寄贈、購入、取得等の方法で収集した。

2024 年度受入件数は 1,509 件。(図書類 300 件、新聞 92 件、標本類 1,117 件)

主な資料は、海外で発行されている日本語新聞の原紙、国内外で刊行された移住関連の書籍類、パラグアイ日系一世が日本で使用していた学生服や旅券、ドミニカ共和国日系一世を撮影した写真フィルム及び画像データ、ペルー日本人移民の労働契約書、ブラジル日本人移民とその子孫から日本の親族へ送られた書簡、その他企画展示開催準備のため収集した標本・文書・写真・書籍等である。

#### 2024 年度受入件数

|     | 第 1 四半期 | 第 2 四半期 | 第 3 四半期 | 第 4 四半期 | 年度計   |
|-----|---------|---------|---------|---------|-------|
| 取得  | 30      | 92      | 54      | 25      | 201   |
| 購入  | 3       | 12      | 2       | 3       | 20    |
| 寄贈  | 54      | 1,012   | 98      | 124     | 1,288 |
| 移管  | 0       | 0       | 0       | 0       | 0     |
| 寄託  | 0       | 0       | 0       | 0       | 0     |
| その他 | 0       | 0       | 0       | 0       | 0     |
| 合計  | 87      | 1,116   | 154     | 152     | 1,509 |

#### 2) 資料の整理

##### (a) 資料の整理・登録作業

2024年度に受入した資料および前年度までに受入をし、未整理となっていた資料について、整理、登録を行った。

作業件数：1,642件（図書類1,272件、新聞89件、標本類281件）

#### 2024 年度登録件数

|     | 第 1 四半期 | 第 2 四半期 | 第 3 四半期 | 第 4 四半期 | 年度計   |
|-----|---------|---------|---------|---------|-------|
| 取得  | 98      | 47      | 55      | 26      | 226   |
| 購入  | 2       | 2       | 9       | 1       | 14    |
| 寄贈  | 863     | 174     | 282     | 83      | 1,402 |
| 移管  | 0       | 0       | 0       | 0       | 0     |
| 寄託  | 0       | 0       | 0       | 0       | 0     |
| その他 | 0       | 0       | 0       | 0       | 0     |
| 合計  | 963     | 223     | 346     | 110     | 1,642 |

#### (b) 伊藤一男関連資料の整理作業

伊藤一男氏（元読売新聞記者、シカゴ新報東京支局長、北米報知東京支社長、『北米百年桜』著者）のご遺族より寄贈を受けた資料について、公開用目録作成、図書登録などの整理作業を実施した。

寄贈資料は、主に北米日本人移住者に関するものであり、図書、新聞、写真、書簡等、多岐にわたる。

##### ・公開用目録作成作業

歴史資料等保有施設として義務付けられている一般の閲覧に供することを目的とした目録（公開用目録）作成作業を、前年度に引き続き、実施した。

具体的な作業としては、これまで実施してきた予備整理作業において作成した概要入力一覧の情報をもとに一資料に一番号を付し、それぞれに資料名、日付、形態、サイズ、数量、状態などを詳細に記録した。それにより、目録の上で、閲覧者が資料を確認できることになり、不要な出納を避けることができる。次年度も、資料の特性にあわせて、記入項目を適宜、追加修正しつつ、引き続き、作業を実施する予定。

※「公文書等の管理に関する法律施行令」第六条第二項

当該資料の目録が作成され、かつ、当該目録が一般の閲覧に供されていること。

作業件数 229 件（資料群の数）、4,191 点（資料点数）

##### ・図書登録作業

受入時のまとまりを尊重し、整理作業を進めてきた伊藤一男資料は、文書や写真等と図書類、新聞類が混在して、ひとつの資料群をなしているものがほとんどであるが、今後の目録公開、閲覧提供を見据えて、図書類として利活用できるものについては、資料の原秩序を尊重（記録）しつつ抜出する作業を行ってきた。これらの図書類について、既に当館図書類目録に登録されているか確認をし、複本が3冊に満たないものについて、目録登録する作業を実施した。

作業件数：1,045件

#### (c) 図書資料等の目録更新作業

既に登録されている図書資料等を対象とした書誌情報の修正、不足情報の追加、複本確認等の作業を実施した。

作業件数：1,649件

#### (d) その他

上記整理作業実施に伴う格納場所確保のため、収蔵庫各所において、資料の棚移動作業を実施した。また、既に格納済みの一部資料について、保管方法および保管場所の見直し、資料の整理作業を実施した。

### 3) 収蔵環境の整備

#### (a) 特別清掃

常設展示場、企画展示室、一般収蔵庫、写真特殊収蔵庫、情報処理室、閲覧室、ボランティア室について、専門業者へ依頼をして、特別清掃作業を実施した。

また、収蔵庫収蔵資料の一部（木製資料）について、生物被害による劣化がみられたため、専門業者へ依頼して、廃棄作業を実施した。

#### (b) 収蔵庫等の環境調査

収蔵品を保管している一般収蔵庫、写真特殊収蔵庫、閲覧室書庫において、各種資料に適切な保存環境について確認、検討することを目的に、目視確認、温湿度測定を実施した。

また、資料の生物被害を防ぐために、常設展示場、一般収蔵庫、写真特殊収蔵庫、バックヤードにおいて、害虫生息調査を実施した。

## (2) 情報システム

### 1) 情報検索システム

#### (a) 情報検索システム運用

閲覧室で実施される各種レファレンスサービスと連携して、当館の収蔵資料について情報を整備し、情報検索システムを通じて館内、館外へ検索サービスを提供した。2024 年度末時点登録数：27,825 件（うち図書類：25,267 件、標本類：2,558 件）。

URL：<https://jommdms.jica.go.jp/k-search/>

#### (b) 登録データの整備

既に登録されている書誌情報の修正、不足情報の追加等を行った。また、図書の複本処理を行い、データを統合させた。登録情報の照合・確認・修正件数は1,649件。

### 2) 海外移住資料館 web ページコンテンツ

#### (a) 移住資料デジタルネットワーク化プロジェクトサイトの維持・管理

当館では、日本国内および世界各国の日本人の海外移住をテーマにした博物館・資料館等と連携し、当館がそれらのハブ機能としての役割を持つプロジェクトをすすめている。また、このプロジェクトでは、当館の情報システムを活用し、写真・資料のデジタル・アーカイブおよびインターネット上の資料展示や横断的な資料検索等を実現することで相互の移住資料が有効活用されるネットワークをめざしている。

現在公開中のプロジェクトサイトは以下のとおり。

- ・ 広島市デジタル移民博物館  
URL：<https://jommdms.jica.go.jp/fmp/dmshiroshima/map/>
- ・ オキナワボリビア歴史資料館  
URL：<https://jommdms.jica.go.jp/fmp/okinawabolivia/map/>
- ・ アルゼンチン日本人移民史  
URL：<https://jommdms.jica.go.jp/fmp/fana/map/>
- ・ ペルー日系人協会 移住資料デジタルネットワーク化プロジェクトサイト  
URL（デジタル展示日本語）：[https://jommdms.jica.go.jp/fmp/apjmuseo/map\\_jp/](https://jommdms.jica.go.jp/fmp/apjmuseo/map_jp/)  
URL（デジタル展示スペイン語）：[https://jommdms.jica.go.jp/fmp/apjmuseo/map\\_es/](https://jommdms.jica.go.jp/fmp/apjmuseo/map_es/)  
URL（デジタル展示英語）：[https://jommdms.jica.go.jp/fmp/apjmuseo/map\\_en/](https://jommdms.jica.go.jp/fmp/apjmuseo/map_en/)  
URL（移民データベース日本語）：<https://jommdms.jica.go.jp/jp/>  
URL（移民データベーススペイン語）：<https://jommdms.jica.go.jp/es/>
- ・ 中南米移住地記録写真集 1964  
URL：<https://jommdms.jica.go.jp/fmp/1964top/index.html>



### 3. 研究活動

#### (1) 学術研究プロジェクト

学術委員会において企画・検討された以下の6プロジェクトについて、今年度の活動を行った。  
学術研究プロジェクトの研究概要は以下のとおり。

##### 1) 日加関係において日本人移民・日系人が果たした役割

【概要】本プロジェクトでは、「日加関係において日本人移民・日系人が果たした役割」のテーマで、外交史料館や新たに国会図書館移民資料室など類縁機関の所蔵史料及び、新たに判明した、戦後、日本に「送還」帰還した日系人生存者（80-90 才代）※ に対する聞き取りを通じて個人資料の発掘に努力する。そして、それらの史資料を使用して、日加関係における日系人・日本人移民に関し、これまで以上に視野を広げ、扱う時期を長くした（戦前から戦後へ繋がる）テーマでの研究を深めたい。

これまで本プロジェクトが行ってきた戦後の日系カナダ人および戦後の日本人カナダ移住に関する研究から、戦前との断絶面だけではなく戦後への継続面も見えてきた。よって、今後は、カナダ政府の対日本人移民政策の戦前から戦後への一貫性や、戦前からの日本人移民が、戦後の日本人カナダ移住において果たした役割等にも注目し、戦前からの日加関係の推移の中で、研究を深めたい。

その成果を移住資料館『研究紀要』等で発表するとともに、収集した史料を今までの寄贈史料に加えることによって、広く研究に資するための更に充実した内容にしたい。

※最近のカナダ・ブリティッシュ・コロンビア州政府日系カナダ人補償プログラムによる、「日系カナダ人生存者健康福祉基金」への助成金申請を通じて、新たに所在が判明した日本在住の生存者。

【プロジェクトリーダー】飯野正子（津田塾大学理事・名誉教授）

##### 2) 「帰国」をめぐる個人史 — 祖国・故郷・家 —

【概要】日米戦争を挟む、世界恐慌からはじまる 1930 年代から戦後高度成長期へ向かう 1950 年代における、日本人移住者及び二世層の「帰国」をめぐる言説・意識と実際の行動について、一次史料に基づく史的事実を再構成する作業に依拠する個人史に視点を据えて分析する作業をメンバーがそれぞれ進め、その途中経過について順次報告し、プロジェクトテーマにまとめあげてゆくための議論を深める。

【プロジェクトリーダー】柳田利夫（慶應義塾大学名誉教授）

##### 3) 出移民・入移民の構造変容に関わる研究

【概要】本プロジェクトは、日本において進行する出移民・入移民をめぐる構造変容をどのように理解し、さらにそこで得られた知見を将来的に海外移住資料館の展示にどのように反映するか検討することにある。

日本は近代以降、移民送出国であったが、とりわけ 1980 年代以降、その様相が変わり、移民受入国へと変化し始めた。こうした構造変容には、日本の国際的な位置の変化と資本主義経済の展開が介在している。この構造変容の過程に着目することで、人の移動に関わる経済的な操りの糸と、これと連動する制度・政策の動きが浮かび上がる。本研究はこの

構造変容とそれを取りまく諸要因、ならびに構造変容の諸影響を、抽象論としてではなく、その過程を生きた人々の営みに着目することで、生活史の視角から分析し、そこから構造変容に関わるマクロな様相を見通そうとするものである。

本研究では、この構造変容を生きた人々に関係する個人・コミュニティ・行政の資料調査、および関係者からの聞き取り調査を行う。具体的には、次の二つの局面に焦点を当てる。

まずひとつは、1990年代以降の、いわゆる「外国人労働者」の日本への流入過程に着目し、日系人の日本への出稼ぎ・定住をめぐる生活史を中心課題として、資料調査と聞き取り調査を行う。その上で、日系人以外の「外国人労働者」が諸制度の下で増加し、いわば多様化が進む今日の状況に即して考えたとき、日系人の日本への出稼ぎ・定住の経験との連続性と断絶面の双方を分析するべく、必要に応じて調査対象を拡大する。

もうひとつは、この構造変容と対照させる形で、戦前に日本から海外へ渡航した「移民」が、その過程で獲得した知見を活かしながら、後年に移民送出や植民政策に関わったケースに着目する。この対象事例を置くことにより、移住を取り巻く諸状況に対する理解を豊富化するとともに、移民史をめぐる、これを規定する国際関係や資本主義の変容と関わらせて置き直し、移民の送出国から受入国への変容までを含めた通史的な理解の創出につなげることを試みる。

【プロジェクトリーダー】原山浩介（日本大学教授）

#### 4) 1940-50年代の北米・ハワイにおける日本人移民の経験を再考する

【概要】本プロジェクトでは、前プロジェクト「海外への移動・移送と絆の視点からみるグローバルヒストリー」で得られた手法と考察を基盤とし、太平洋戦争中と戦前・戦後の時代を北アメリカやハワイで経験した日本人移民・移住者とその子孫に関する研究調査を発展させる予定である。前プロジェクトでは、日本の開国前も視野に入れることで、日米関係や日本人移民に起こった事象にみられる「絆」を従来の研究よりも長いスパンで、より広い見地から捉え直すことを試み、成果の一部を『研究紀要』に投稿済み、もしくは今年度、投稿予定である。こうした蓄積をもとに、本プロジェクトでは太平洋戦争を中心とする前後の時代を従来の研究よりも長く広く捉えて、日本人移民・日系人の経験に光を当て直す。これは、日米関係史、日本人移民史、北アメリカ・ハワイ研究において蓄積のある飯野正子と桑井輝子の研究を基盤としつつ、アメリカ合衆国の日本人移民・日系人に対する「強制収容」とその前後を新たな視点で再考する試みである。国際関係の危機という制限された状況における人びとの工夫や、多様な活動の創出にかかわる交渉、そしてその限界を前後の連続性や他との関係性の視点から見直すことで、従来の研究では看過されてきた歴史事象を発見し、新たな知見を得ることが期待される。それは同時に、国際関係の悪化が危惧される現代においてはとくに意義深い研究になると考えている。具体的には、アメリカにおける強制収容政策に対する一連の議論の見直し、収容所内外の日本人移民・日系人の日常実践、日本人移民による戦後の日本救済活動などから研究調査を開始したいと考えている。

【プロジェクトリーダー】小澤智子（武蔵野美術大学教授）

## 5) 多文化共生社会に向けた教材化の可能性と魅力

### —人の移動と生成された固有の文化からの学びを通して—

【概要】海外から日本に移り住む人々が増加している現在、教育分野における多文化共生社会に向けた取り組みは喫緊の課題である。多文化社会において、「平等の権利を伴った生活形態の共存とは、すべての市民が差別を受けることなく、ある文化的伝統の世界の内部で成長し、また自分の子どもたちをそのなかで成長させる機会を保障することを意味する」（ユルゲン・ハーバーマス）といわれる。このような機会保障のためにも、多様な文化から学び、教育分野における多文化共生社会に向けた取り組みに活かして行くことは有意なことと考えられる。

そこで本研究では、「人の移動」に伴い継承されている多様な文化から学び、尊重しつつ教材化の可能性と魅力を探り、「差別のない多様で豊かな文化を持つ活力ある社会」を築くための一助とすることを目的とする。

3年間を通して、北海道におけるアイヌ文化、小笠原諸島における南洋踊り等、固有の文化継承の場と関連する施設等を視察し、得られた知見を論文としてまとめる。さらに、教材化の可能性と魅力を探り、「差別のない多様で豊かな文化を持つ活力ある社会」を築くための一助としていく計画である。

【プロジェクトリーダー】福山文子（専修大学准教授）

## 6) 海外移住資料館『学習活動の手引き』（第三訂版）の普及・実践及び教材開発

【概要】JICA 横浜 海外移住資料館は、開館当初より日本の若い世代に海外移住の足跡や役割について理解を深めてもらうことを目的に、同館の展示や資料を活用した指導者向けの『学習活動の手引き』の作成を行ってきた。2022年度の海外移住資料館リニューアルに伴い、2022年度～2023年度の学術研究プロジェクト（研究代表 森茂）において「海外移住資料館のリニューアル展示を活用した『学習活動の手引き』の改訂」を行い、プロジェクトの成果として『学習活動の手引き（三訂版）』を発行した。

本『学習活動の手引き（三訂版）』は、主に学校現場の先生方の資料館見学や授業づくりの参考になるように、海外移住資料館の展示・資料、およびカルタや紙芝居などの教材を活用した活動案を構想している。本プロジェクトでは、『学習活動の手引き（三訂版）』を、学校での授業はもとより、NGO/NPO 関係者などの授業・ワークショップでの更なる活用・普及を目指す。

また、国内外で実施される教員向けの研修会（教育委員会主催の研修等）を含む各種イベントに講師として登壇し、そこで得られた知見も踏まえ、海外移住資料館展示を活用したデジタル教材及びアナログ教材の開発についても検討・作成する。

【プロジェクトリーダー】中澤純一（東京未来大学講師）

## (2) 研究紀要の発行

当館で行われた学術研究の成果として、『研究紀要 第 19 号』を発行した（2025 年 3 月発行）。論文題目等は以下のとおり。

### 【論文】

アメリカン・フレンズ奉仕団から収容所の母親と新生児への贈り物  
武蔵野美術大学教授 小澤智子

20 世紀前半の洋裁教育にみられる日米間の女性の移動性とキャリア形成  
— 広島県出身の土井田阿佐代を事例として —  
日本大学教授 北脇実千代

博学連携における構成主義的学習の意義と課題  
— JICA 横浜 海外移住資料館の展示を活用した移民学習の実践を事例に —  
創価大学講師 津山直樹  
自由学園高等部教諭 高野慎太郎

### 【研究ノート】

『南米行』：堀内新泉の〈立志小説〉における  
20 世紀初頭の南米への日本人移住体験をめぐって  
フェリス学院大学教授 比嘉マルセーロ

第二次世界大戦後の日本人カナダ移住政策をめぐって  
— 日加の動向 —  
東京外国語大学兼任講師 木野淳子

ブラジル・トメアスー移住地における日系人の俳句活動と課題  
— トメアスー移住地俳句会会誌を事例に —  
JICA 緒方貞子平和開発研究所プロジェクト研究分担者 半澤典子

### 【資料紹介】

『川柳研究 筏』  
白百合女子大学名誉教授 桑井輝子

松宮家所蔵南米移民関係資料（その 3）  
国際日本文化研究センター特定研究員 根川幸男  
JICA 緒方貞子平和開発研究所客員研究員 ガラシーノ・ファクンド

### 【調査報告】

カンボグラnde沖縄県人会における「混血者」のインタビュー調査  
琉球大学教授 野入直美

『研究紀要』については、各号の PDF 版を製作し、当館 Web ページにて公開している。  
URL: <https://www.jica.go.jp/domestic/jomm/publications/kiyo.html>

### (3) JICA 海外移住「論文」及び「エッセイ・評論」募集事業

日本国内における外国人とのよりよい共生が課題となるなか、日本人の海外移住の 150 年以上の歴史に対する理解と関心を高めることを目的として国際協力機構（JICA）は 2019 年に「JICA 海外移住論文」を創設した。

第二回の募集より、海外移住の歴史に対してより関心のすそ野を拡げることを目指し、論文部門のほかに「エッセイ・評論部門」を加え、テーマを第一回の「邦字新聞」から「日本人の中南米への移住」とした。

第五回は引き続き、募集部門を「論文部門」「エッセイ・評論部門」の二部門で、テーマを「日本人の北米・中南米への移住」として募集を行い、以下の作品が受賞した。2024 年 12 月 18 日に、当館内で授賞式を開催し、館長より賞状・賞金の授与が行なわれた。

※肩書は受賞時のもの

#### 1) 論文部門

【最優秀賞・優秀賞】該当なし

#### 2) エッセイ・評論部門

【最優秀賞】

タイトル：ボリビア・リベラルタとともに生きた日本人ー下瀬甚吉ー

氏名：大島正裕さん 立教大学 ラテンアメリカ研究所研究員

賞金：20 万円

【優秀賞】

タイトル：日本人移民が向き合う孤独と母語教育・同胞コミュニティの重要性  
ー1950 年代の北米報知の記事を起点にー

氏名：長沼彩花さん オタワ大学国際・公共政策大学院生

賞金：5 万円

タイトル：ハワイ移民和助の生涯

氏名：小迫孝乃さん 「お寺と教会の親なきあと相談室」アドバイザー

賞金：5 万円

第六回募集においては、国際移住機関（国連 IOM）駐日事務所による後援のもと、「日本人の北米・中南米への移住」をテーマに募集する。さまざまな研究結果およびエッセイ・評論を募り優秀な作品を発表することによって、日本人の海外移住の歴史に対する理解と関心を高め、移民研究のすそ野を広げることや多文化共生など今日的な社会課題への気付きを得ることをねらいとして実施する。2024 年 12 月に募集を開始し、応募締め切りは 2025 年 6 月 30 日までとなっている。

## 4. 運営委員会・学術委員会

### (1) 運営委員会

当館の運営方針、事業計画、学術事項等運営に関する重要事項について専門的な見地から議論・検討することを目的とし、運営委員会を設置している。同委員会は学識経験者および JICA 総務部長、中南米部長、国内事業部長、館長等により構成される。2025 年 3 月 21 日に、学識経験者として飯野学術委員長の出席を得て実施した。

### (2) 学術委員会

当館における学術研究に係る企画・実施協議・評価・交流を行うことを目的として、2006 年度に海外移住資料館学術委員会を設置した。同委員会は、学識経験者、海外移住資料館長（JICA 横浜所長）により構成される。

#### 【2024 年度 学術委員会開催】

- ・ 第 1 回 学術委員会（5 月 14 日）
- ・ 第 2 回 学術委員会（11 月 14 日）
- ・ 第 3 回 学術委員会（3 月 14 日）

#### 【2024 年度 学術委員】

|     |      |                          |
|-----|------|--------------------------|
| 委員長 | 飯野正子 | 津田塾大学理事・名誉教授             |
| 委員  | 中牧弘允 | 吹田市立博物館特別館長、国立民族学博物館名誉教授 |
|     | 柳田利夫 | 慶應義塾大学名誉教授               |
|     | 原山浩介 | 日本大学教授                   |
|     | 赤木妙子 | 目白大学教授                   |
|     | 小澤智子 | 武蔵野美術大学教授                |
|     | 福山文子 | 専修大学准教授                  |
|     | 大野裕枝 | JICA 横浜所長（海外移住資料館長）      |

## 5. 各種実績等

### (1) 来館者受入

(順不同)

#### 1) 国会議員・閣僚等

広島市議会 石田祥子議員、川村真治議員、幸城麗子議員、横浜市議会 坂本勝司議員、米州友好横浜市議会議員連盟 会長 横山正人議員他8名、相模原市議会 萩生田康治議員が当館をご視察された。

#### 2) 在京大使館・領事館等

駐日ブラジル連邦共和国大使館一行、駐日パラグアイ共和国大使、駐日ペルー共和国大使、在東京ペルー共和国総領事、駐日アメリカ合衆国大使館一行、在マナウス日本国総領事、在ドミニカ共和国日本国大使、在パラグアイ日本国大使が当館をご視察された。

#### 3) 日本政府・国内自治体等

群馬県甘楽町、長野県副知事、外務省領事局、外務省国際局、神奈川県福祉子どもみらい局、横浜市市民局、横浜市健康福祉局、横浜市瀬谷区役所、横浜市磯子区役所、横浜市中区役所、横浜市南区役所、横浜市水道局、山梨県小菅村村長、福岡県国際課、茅ヶ崎市国際交流協会が当館をご視察された。

#### 4) 海外・国内関係機関・団体等

全米日系人博物館、外交史料館、ハートマウンテン・ワイオミング財団、松柏学園、大志万学院、ブエノスアイレス日亜学院が当館をご視察された。

今後も、外部からの視察等については、当館の啓発・発信の機会と捉え、積極的に対応したい。

### (2) 他館・他機関への訪問

(順不同)

#### 1) 国内

日本定住資料館、国立水俣病総合研究センター、外務省外交史料館、国立国会図書館、東京国立博物館、黒田記念館、国立歴史民俗博物館、和歌山県立近代美術館、和歌山市民図書館移民資料室、カナダミュージアム、和歌山大学紀州経済史文化史研究所

#### 2) 海外

7月10～19日にかけて当館スタッフが企画展示開催準備のため、アメリカに海外出張を行った。主な訪問先は以下の通り。

サンノゼ日系アメリカ人博物館、サンノゼ仏教会別院、サンノゼ日本町内各商店ほか関係施設

### (3) その他

#### 1) 展示および資料整理に関する作業部会（ワーキング・グループ）

本部会は、当館の各種業務に関して、中・長期的な視野を持ちながら検討することを目指し2023年度より発足した。

会議では、①各種業務実績の共有、②当館所蔵資料の整理方針の検討、③常設展示場の改善に関する対応報告および今後の対応手順の整理、④今後の企画展示案の検討・決定の4点を中心的な主題として設定し、討議を行った。

【2024 年度 ワーキンググループ開催】

- ・第 1 回 ワーキンググループ（6 月 5 日）
- ・第 2 回 ワーキンググループ（12 月 23 日）

【メンバー】

原山浩介学術委員

JICA 横浜 海外移住資料館担当者

海外日系人協会 研究・学芸部門担当者

## (4) 他館への資料貸出

当館所蔵資料の貸出実績は以下のとおり。

| 日付    | 貸出先            | 貸出内容           | 利用目的   |
|-------|----------------|----------------|--------|
| 4/1   | 昭和館            | 画像 68 点        | 常設展示利用 |
| 4/1   | 神戸海洋博物館        | 画像 1 点         | 常設展示利用 |
| 4/1   | 日伯協会           | 図書 4 点、標本 38 点 | 常設展示利用 |
| 4/1   | 福岡県八女市役所       | 画像 1 点         | 常設展示利用 |
| 4/2   | JICA 横浜        | 画像 14 点        |        |
| 4/25  | アリソデナサソ        | 画像 1 点         |        |
| 4/30  | 海外日系人協会        | 画像 3 点         |        |
| 5/15  | 日本ボリビア協会       | 画像 1 点         |        |
| 6/15  | 徳島ブラジル友好協会     | パネル 11 点       |        |
| 6/15  | 個人             | 画像 7 点         |        |
| 6/24  | JICA 横浜        | 画像 2 点         |        |
| 6/24  | TVK コミュニケーションズ | 画像 8 点         |        |
| 7/1   | ABC フロンティア     | 画像 3 点         |        |
| 7/1   | 丸善出版           | 画像 1 点         |        |
| 7/9   | JICA 横浜        | 画像 1 点         |        |
| 7/16  | 新宿区立鶴巻図書館      | パネル 7 点        |        |
| 7/16  | FBS 福岡放送       | 画像 5 点         |        |
| 9/14  | JICA 東京        | パネル 10 点       |        |
| 10/1  | 個人             | 画像 1 点         |        |
| 10/29 | 静岡文化芸術大学       | 画像 2 点         |        |
| 11/1  | 茅ヶ崎市国際交流協会     | パネル 5 点        |        |
| 11/5  | ABC フロンティア     | 画像 3 点         |        |
| 12/12 | 二本松青年海外協力隊訓練所  | パネル 7 点        |        |
| 12/14 | 専修大学           | 画像 5 点         |        |
| 12/25 | 海外日系人協会        | 画像 2 点         |        |
| 12/25 | 個人             | 画像 14 点        |        |
| 2/1   | 花巻市            | 画像 5 点         |        |
| 2/12  | JICA 地球ひろば     | 画像 3 点         |        |
| 3/5   | 朝日放送テレビ        | 画像 12 点        |        |

## (5) 各種実績データ

### 2024年度業務実績一覧

2024.4～2025.3

| 常設展示スペース  | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 年度計    |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 入館者数      | 2,113 | 3,890 | 2,710 | 3,112 | 3,786 | 3,252 | 3,570 | 3,994 | 3,480 | 3,793 | 3,474 | 3,354 | 40,528 |
| (前年度比)    | 116%  | 117%  | 73%   | 95%   | 97%   | 97%   | 111%  | 175%  | 923%  | 1536% | 2363% | 120%  | 142%   |
| 一般        | 1,855 | 2,577 | 2,008 | 2,796 | 3,619 | 2,825 | 2,938 | 3,066 | 2,862 | 2,138 | 2,942 | 3,275 | 32,901 |
| 学校関係      | 258   | 1,313 | 702   | 316   | 167   | 427   | 632   | 928   | 618   | 1,655 | 532   | 79    | 7,627  |
| 15歳未満     | 198   | 1,024 | 747   | 476   | 655   | 420   | 647   | 629   | 477   | 1,502 | 620   | 388   | 7,783  |
| 15歳以上     | 1,915 | 2,866 | 1,963 | 2,636 | 3,131 | 2,832 | 2,923 | 3,365 | 3,003 | 2,291 | 2,854 | 2,966 | 32,745 |
| 個人        | 1,666 | 2,104 | 1,667 | 2,491 | 3,435 | 2,791 | 2,509 | 2,609 | 2,564 | 1,967 | 2,748 | 3,092 | 29,643 |
| 団体        | 447   | 1,786 | 1,043 | 621   | 351   | 461   | 1,061 | 1,385 | 916   | 1,826 | 726   | 262   | 10,885 |
| オンライン利用者数 | 0     | 0     | 0     | 48    | 53    | 89    | 0     | 19    | 0     | 8     | 0     | 68    | 285    |

※開館からの累計：752,139名

| 教育プログラム実施                 | 4月  | 5月    | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月    | 2月  | 3月  | 年度計   |
|---------------------------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-------|
| 対応件数                      | 10  | 27    | 18  | 24  | 14  | 21  | 18  | 34  | 21  | 32    | 13  | 11  | 243   |
| 実施対象人数                    | 183 | 1,425 | 479 | 459 | 185 | 388 | 689 | 786 | 594 | 1,678 | 446 | 171 | 7,483 |
| インターン受入人数 <sup>(のべ)</sup> | 0   | 0     | 0   | 0   | 1   | 0   | 3   | 0   | 0   | 0     | 0   | 0   | 4     |

| 照会対応      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年度計 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 対応件数      | 7  | 9  | 8  | 8  | 24 | 19 | 24  | 22  | 16  | 20 | 21 | 29 | 207 |
| JICA      | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1   | 1   | 0   | 0  | 0  | 0  | 2   |
| 教育機関      | 0  | 1  | 0  | 1  | 1  | 1  | 2   | 2   | 1   | 1  | 2  | 1  | 13  |
| 国内団体      | 1  | 1  | 4  | 1  | 1  | 2  | 1   | 2   | 2   | 1  | 1  | 1  | 18  |
| 個人        | 5  | 6  | 4  | 3  | 19 | 14 | 17  | 15  | 11  | 15 | 13 | 22 | 144 |
| 自治体       | 0  | 1  | 0  | 1  | 1  | 0  | 0   | 0   | 0   | 3  | 3  | 2  | 11  |
| 制作会社・マスコミ | 1  | 0  | 0  | 1  | 2  | 2  | 2   | 1   | 2   | 0  | 2  | 3  | 16  |
| 国外団体      | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 1   | 1   | 0   | 0  | 0  | 0  | 3   |

| 閲覧室        | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月  | 9月  | 10月 | 11月  | 12月     | 1月      | 2月      | 3月      | 年度計   |
|------------|----|----|----|----|-----|-----|-----|------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 入室者数       | 0  | 0  | 0  | 0  | 113 | 86  | 134 | 139  | 134     | 209     | 129     | 190     | 1,134 |
| (前年同比)     | 0% | 0% | 0% | 0% | 56% | 54% | 65% | 143% | (前年度閉室) | (前年度閉室) | (前年度閉室) | (前年度閉室) | 40%   |
| 一般         | 0  | 0  | 0  | 0  | 76  | 44  | 59  | 77   | 64      | 63      | 47      | 62      | 492   |
| マスコミ等      | 0  | 0  | 0  | 0  | 1   | 13  | 3   | 7    | 9       | 13      | 8       | 15      | 69    |
| JICA関係(業務) | 0  | 0  | 0  | 0  | 36  | 29  | 45  | 43   | 58      | 74      | 65      | 76      | 426   |
| JICA関係(研修) | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 27  | 12   | 3       | 59      | 9       | 37      | 147   |

| 資料受入件数  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月    | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年度計   |
|---------|----|----|----|----|----|-------|-----|-----|-----|----|----|----|-------|
| 資料受入件数  | 21 | 44 | 22 | 70 | 39 | 1,007 | 16  | 52  | 86  | 52 | 82 | 18 | 1,509 |
| (うち取得)  | 1  | 21 | 8  | 23 | 17 | 52    | 12  | 34  | 8   | 7  | 9  | 9  | 201   |
| (うち購入)  | 1  | 1  | 1  | 0  | 1  | 11    | 1   | 0   | 1   | 0  | 0  | 3  | 20    |
| (うち寄贈)  | 19 | 22 | 13 | 47 | 21 | 944   | 3   | 18  | 77  | 45 | 73 | 6  | 1,288 |
| (うち移管)  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0     | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0     |
| (うち寄託)  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0     | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0     |
| (うちその他) | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0     | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0     |

| webページアクセス   | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 年度計     |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| Visits(訪問者数) | 3,656  | 4,355  | 4,489  | 4,353  | 4,031  | 4,008  | 4,002  | 4,210  | 3,656  | 4,545  | 3,913  | 3,921  | 49,139  |
| PV(ページビュー数)  | 10,668 | 13,054 | 12,489 | 12,624 | 12,551 | 11,602 | 13,116 | 12,300 | 10,428 | 13,363 | 11,030 | 11,664 | 144,889 |

| 情報検索アクセス数   | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 年度計     |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| PV(ページビュー数) | 536    | 1,083  | 808    | 900    | 1,061  | 1,173  | 882    | 1,330  | 1,015  | 1,729  | 982    | 1,304  | 12,803  |
| (前年同比)      | 40%    | 51%    | 29%    | 66%    | 32%    | 50%    | 37%    | 67%    | 86%    | 164%   | 291%   | 450%   | 114%    |
| *検索件数       | 40,027 | 47,213 | 47,706 | 47,828 | 49,851 | 47,869 | 48,583 | 48,891 | 46,059 | 28,974 | 42,391 | 42,738 | 538,130 |

**JICA 横浜 海外移住資料館 館報**  
**2024 年度**

---

**発 行：独立行政法人国際協力機構横浜センター  
海外移住資料館**

**発行年月：2025 年 6 月**

**問い合わせ先**

**JICA 横浜 海外移住資料館**

**〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港 2-3-1**

**Tel 045-663-3257 / Fax 045-211-1781**

**Web : <https://www.jica.go.jp/domestic/jomm/index.html>**

**E-mail : [jicayic\\_jomm\\_info@jica.go.jp](mailto:jicayic_jomm_info@jica.go.jp)**



